

マニユライフ・インベストメンツ・トラストーUS・コア・フィクスト・インカム・ファンド
愛称：**マニユライフ・米国投資適格債券戦略(米ドル建て/豪ドル建てヘッジあり)**
ケイマン籍オープン・エンド契約型外国投資信託／追加型



■「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求、お申込みは

大和証券

Daiwa Securities

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

管理会社:
マニユライフ・インベストメント・マネジメント(HK)リミテッド

管理会社代行サービス会社:
商号等 マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

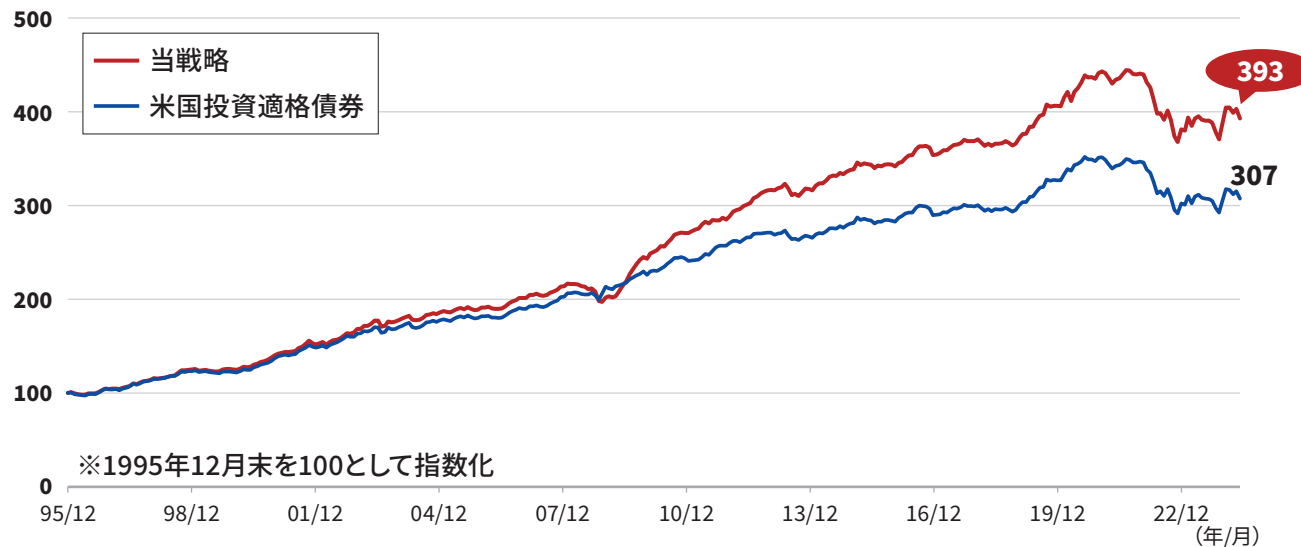
ご購入のお申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断下さい。



「堅実な運用」と「長期の良好な運用実績」

- 当ファンドの投資戦略(「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」：以下、「当戦略」といいます。)は、米国で1995年に運用を開始し、25年超の運用実績を持つ、マニユライフ・グループを代表する投資戦略です。
- 当戦略は、主に米国の投資適格債券を投資対象とし、原則、デリバティブ等の複雑な金融商品には投資せず、分かりやすく透明性の高い堅実な運用を行ってきました。
- 当戦略の運用開始以来のリターン(年率)は4.95%と良好な運用実績を誇ります。

米国における当戦略の運用実績(米ドルベース) (1995年12月末～2024年4月末、月次)



当戦略の
運用開始以来の
リターン(年率): **4.95%**
(1995年12月末～2024年4月末)

投資対象ファンドの
組入債券の
平均最終利回り*: **5.69%**
(2024年4月末時点)

投資対象ファンドの
組入債券の
平均格付け*: **AA-**
(2024年4月末時点)

※詳しくは19ページをご参照下さい。
※平均格付けは、原則、S&P社、ムーディーズ社、フィッチ社の格付けをもとに、マニユライフ・インベストメント・マネジメント(US) LLCが独自の基準に基づき付与した格付けで算出しています。

※使用した指数については巻末をご参照下さい。

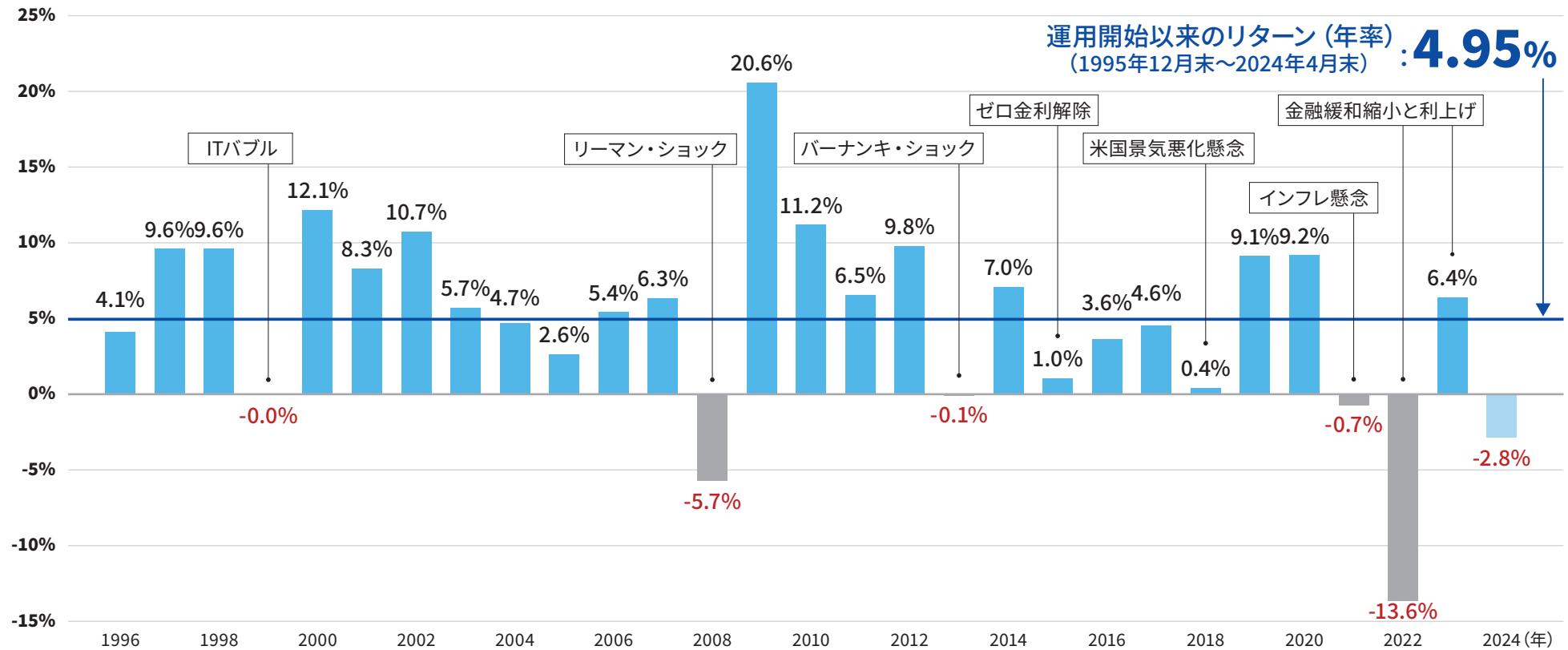
出所: マニユライフ・インベストメント・マネジメント(US) LLC、ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。



年間リターンがマイナスとなったのは28年間で5回のみ

当戦略の年間リターン (1996年～2024年*)



*2024年は2023年12月末から2024年4月末までのリターンを表示しています。

※年間リターンは1996年から2023年までの28回を対象としています。

出所: マニユライフ・インベストメント・マネジメント (US) LLC のデータをもとに マニユライフ・インベストメント・マネジメント 株式会社 が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。



マニュアル・米国投資適格債券戦略(米ドル建て/豪ドル建てヘッジあり)



ファンドのポイント



1

投資対象は、信用力の高い米国の投資適格債券

■米国の投資適格債券は相対的にリスクが低く魅力的な利回りが期待できる資産クラスです。

2

「上質なインカム」の発掘と、投資環境に応じたポートフォリオの見直し

■当ファンドは「上質なインカム」を発掘し、時間をかけて積み上げます。

■投資環境等に応じて銘柄選定とセクター配分を行い、中長期的に安定した投資成果をめざします。

※「上質なインカム」とは利回り水準が魅力的であり、債務返済能力が高いと判断する債券からのインカム(金利収入)のことをいいます。

3

長期にわたり良好な運用実績をもつ マニュライフ・インベストメント・マネジメント(US)LLCによる運用

4

米ドルまたは豪ドルで購入可能

米ドル建て	為替ヘッジは原則として行いません。
豪ドル建てヘッジあり	原則として米ドル売り、豪ドル買いの為替ヘッジ取引*を行い、米ドル／豪ドルの為替変動の影響を低減します。

*為替ヘッジ取引にはコスト／プレミアムが発生します。一般的に豪ドルより米ドルの短期金利が高い場合は、豪ドルと米ドルの金利差相当分がコスト(ヘッジコスト)、逆の場合は、収益(ヘッジプレミアム)となります(詳しくは20ページをご参照下さい)。



米国の投資適格債券の魅力



1. 米国の投資適格債券の魅力

高い信用力と魅力的な利回り



- 当ファンドは、原則、信用力の高い米国の投資適格債券に投資します。
- 米国の投資適格債券は、日本やドイツ等の国債や社債と比べて魅力的な利回り水準となっています(2024年4月末時点)。

主な投資対象の特徴



米国国債、米国政府関連債券

- 米国の政府、政府機関、地方政府等が発行する債券
- 信用力が高く、安全性が高いため、相対的に利回りは低い



米国投資適格社債

- 企業が発行する、格付けがBBB格以上の債券
- 一般的に格付けが高い債券ほど元本・利払いの安全性が高いと見なされるが、利回りは低くなる



証券化商品

《米国住宅ローン担保証券》

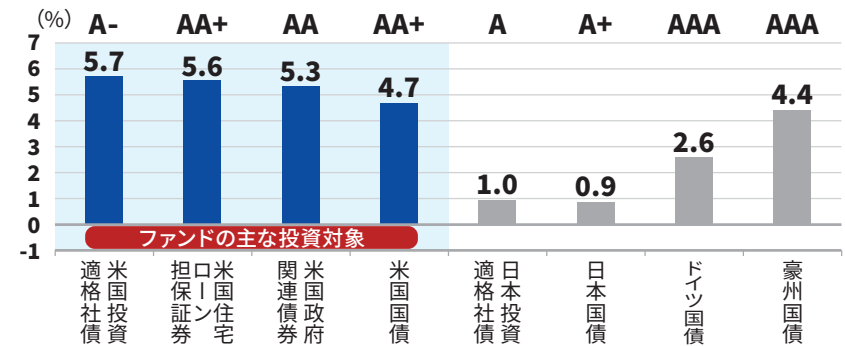
- 住宅ローン等の不動産ローンを証券化したもの
- 期限前償還リスクがあるため、国債等より利回りが高くなる傾向がある

《資産担保証券》

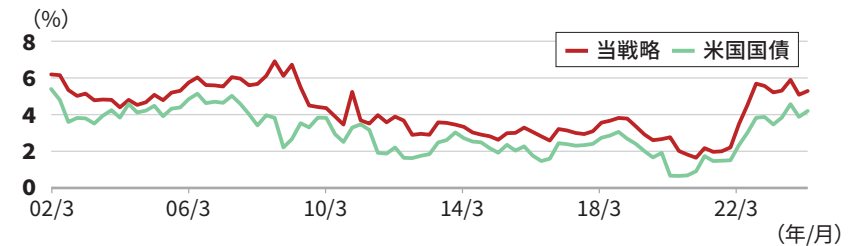
- 商業用不動産担保ローンや住宅ローン、自動車ローン、リース、クレジットカード等に関する貸付金銭債権等の資産を裏付けとして発行される証券

等

主な投資対象の利回り (2024年4月末時点)



当戦略と米国国債の利回り推移 (2002年3月末~2024年3月末、四半期毎)



※米国投資適格社債、米国住宅ローン担保証券、米国政府関連債券、日本投資適格社債の利回りは各指数の最終利回り、格付けは各指数の平均格付けのうち、上位のものを記載しています。

米国国債、日本国債、ドイツ国債、豪州国債の格付けはS&P社の自国通貨建て長期格付け、利回りは10年国債利回りです。当戦略の利回りは最終利回りを使用しています。

※格付記号の表記はS&P社の表記方法で表示しています。

※使用した指数については巻末をご参照下さい。

出所:ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。ポートフォリオの状況は、代表口座の状況であり当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。



1. 米国の投資適格債券の魅力

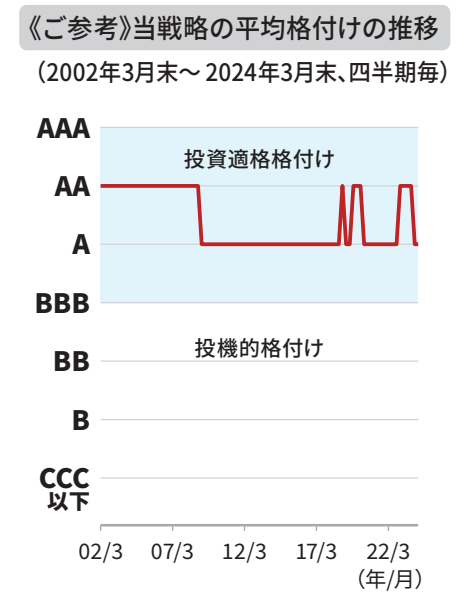
高い信用力から得られる安心感



- 一般に、投機的格付債券は信用力が低く、デフォルト(債務不履行)に陥る可能性が高くなります。一方、当ファンドの投資対象である投資適格債券は、投機的格付債券に比べてデフォルトに陥る可能性は低くなっています。
- 過去、当戦略のポートフォリオの平均格付けはA ~ AAと、長期にわたり高い格付けを維持しています。

債券の格付け		当ファンドの投資対象
S&P社	ムーディーズ社	格付定義(ムーディーズ社)
AAA	Aaa	信用力が最も高いと判断され、信用リスクが最低水準にある債務に対する格付。
AA	Aa	信用力が高いと判断され、信用リスクが極めて低い債務に対する格付。
A	A	中上位と判断され、信用リスクが低い債務に対する格付。
BBB	Baa	中位と判断され、信用リスクが中程度であるがゆえ、投機的な要素を含む債務に対する格付。
BB	Ba	投機的と判断され、相当の信用リスクがある債務に対する格付。
B	B	投機的とみなされ、信用リスクが高いと判断される債務に対する格付。
CCC	Caa	投機的で安全性が低いとみなされ、信用リスクが極めて高い債務に対する格付。
CC	Ca	非常に投機的であり、デフォルトに陥っているか、あるいはそれに近い状態にあるが、一定の元利の回収が見込める債務に対する格付。
C	C	最も格付が低く、通常、デフォルトに陥っており、元利の回収の見込みも極めて薄い債務に対する格付。
D	-	

格付別デフォルト率	
(2002年～2023年平均)	
AAA	0.0%
AA	0.0%
A	0.0%
BBB	0.1%
BB	0.4%
B	2.4%
CCC以下	25.6%



※格付けの符号については一部省略して表示しています。 ※債券の格付けとは債券の元本、利息の支払いの確実性の度合いを示すもので、信用格付会社(S&P社やムーディーズ社等)が各債券の格付けを行っています。 ※格付別デフォルト率はS&P社が公表している各年の格付別デフォルト率を対象期間で平均したものです。 ※当戦略の平均格付けは、原則、S&P社、ムーディーズ社、フィッチ社の格付けをもとに、当社が独自の基準に基づき算出したものです。また、平均格付けは、当ファンド、および投資対象ファンドに係る信用格付けではありません。格付けはS&P社の表記方法で表示しています。
出所:ムーディーズ社、S&P社の各種資料、マニユライフ・インベストメント・マネジメント(US)LLCのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。ポートフォリオの状況は、代表口座の状況であり当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

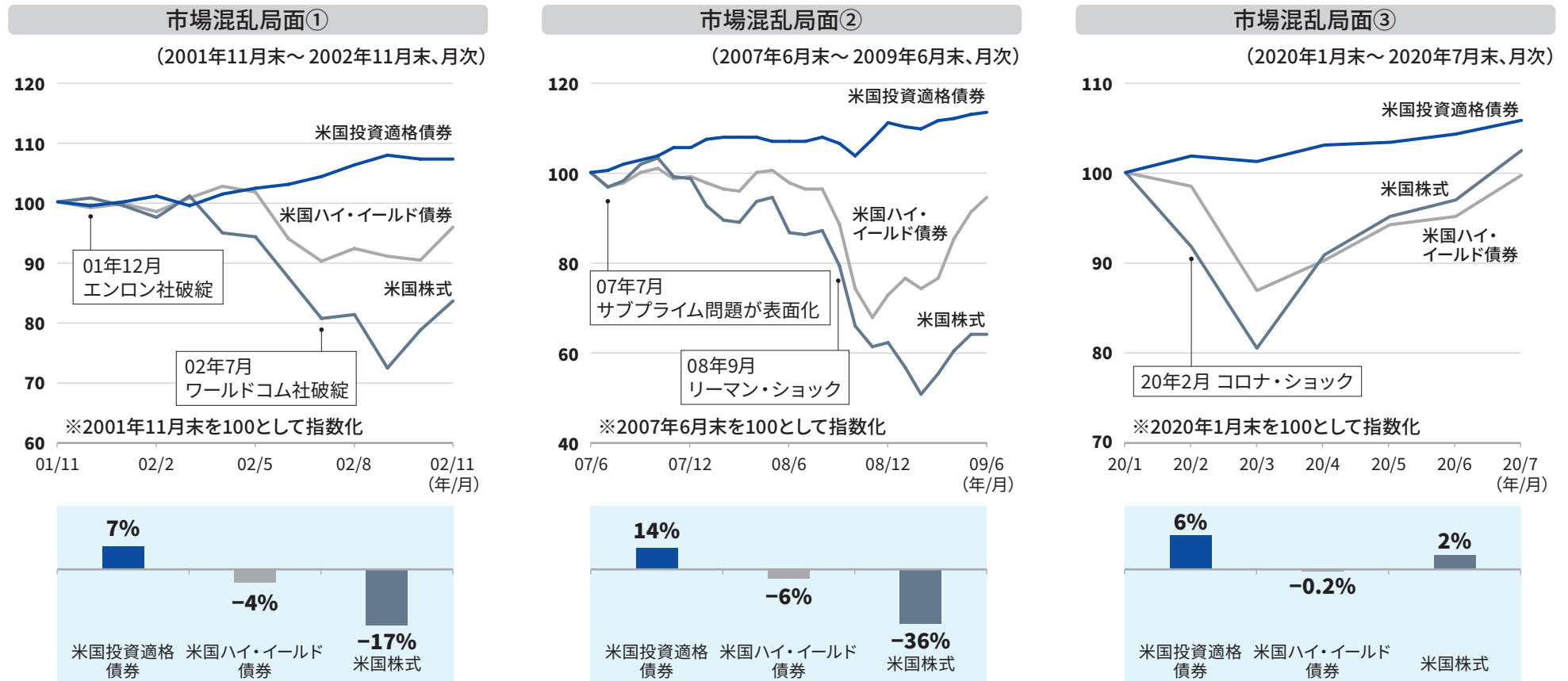


1. 米国の投資適格債券の魅力

市場混乱局面での安定感

■ 過去、投資環境が不安定になった際、投資適格債券のパフォーマンスは、投機的格付けのハイ・イールド債券や株式と比較して安定的に推移しました。

市場混乱局面のパフォーマンスの推移と同期間の騰落率(米ドルベース)



※使用した指数については巻末をご参照下さい。

出所:ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

A row of wooden chess pieces is shown in a shallow depth of field against a blurred green background. The pieces include a king, queen, knight, and pawns. A dark blue horizontal bar is overlaid at the bottom of the image, containing white Japanese text.

「上質なインカム」の発掘と投資環境に応じたポートフォリオの見直し

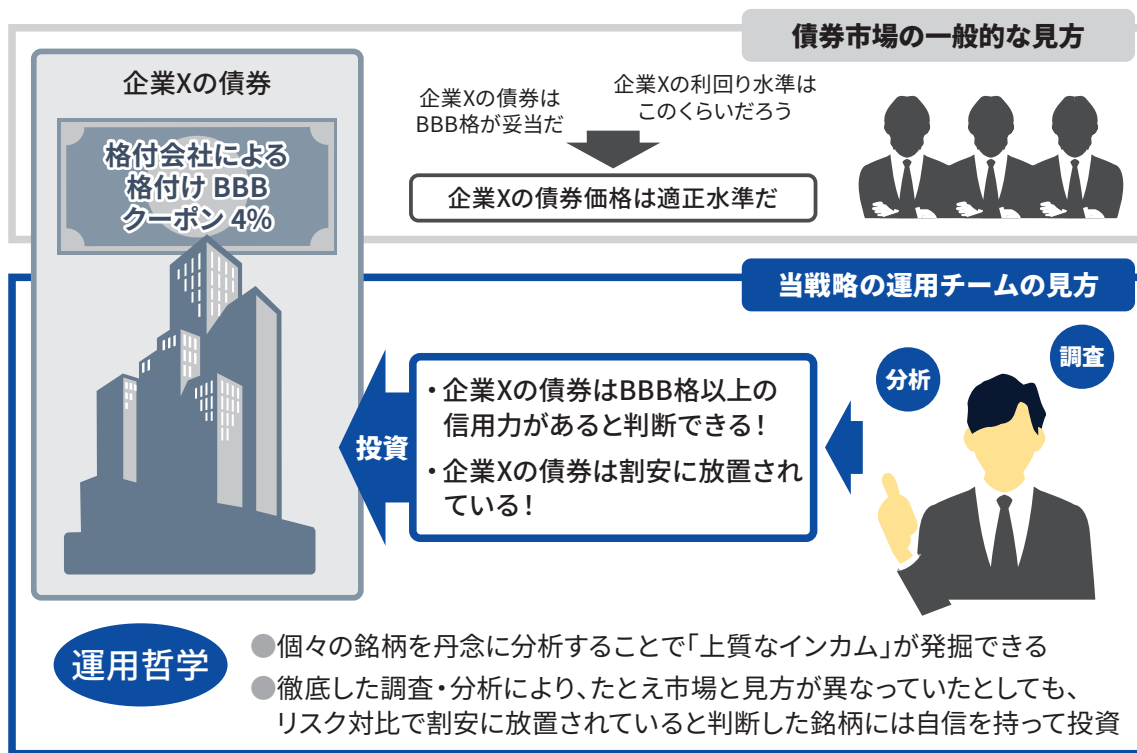


2.「上質なインカム」の発掘と投資環境に応じたポートフォリオの見直し

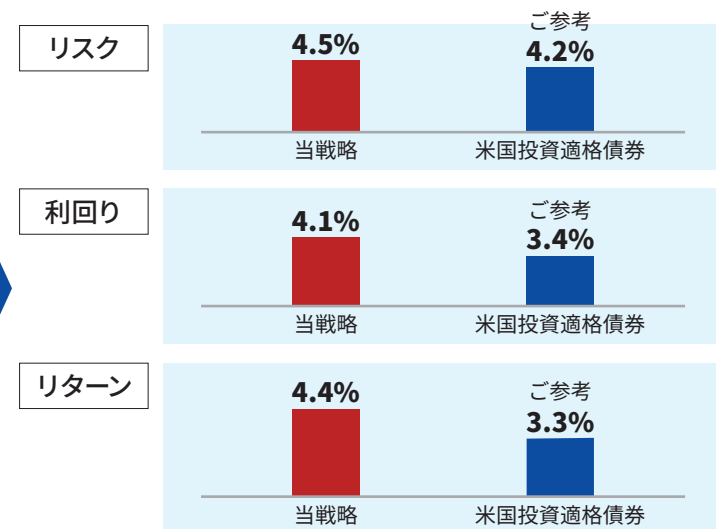
「上質なインカム」の発掘

- 当戦略は、徹底したクレジット(信用力)調査・分析により、利回り水準が魅力的かつ債務返済能力が高いと判断する債券に投資を行います。このような債券からの金利収入＝「上質なインカム」は、当戦略の主な収益源です。
- 「上質なインカム」により、当戦略は中長期的にリスクを抑えながら、相対的に高い利回りと良好なリターンを実現しています。

「上質なインカム」発掘のイメージ



当戦略のリスク、利回り、リターン(米ドルベース)



※利回りは2002年3月末～2024年3月末(四半期毎)の平均値。リスク、リターンの期間は2002年3月末～2024年4月末(月次)であり、リターンは年率換算、リスクは月次リターンの標準偏差を年率換算したものです。
 ※使用した指数については巻末をご参照下さい。
 出所: マニユライフ・インベストメント・マネジメント(US) LLC、ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。ポートフォリオの状況は、代表口座の状況であり当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

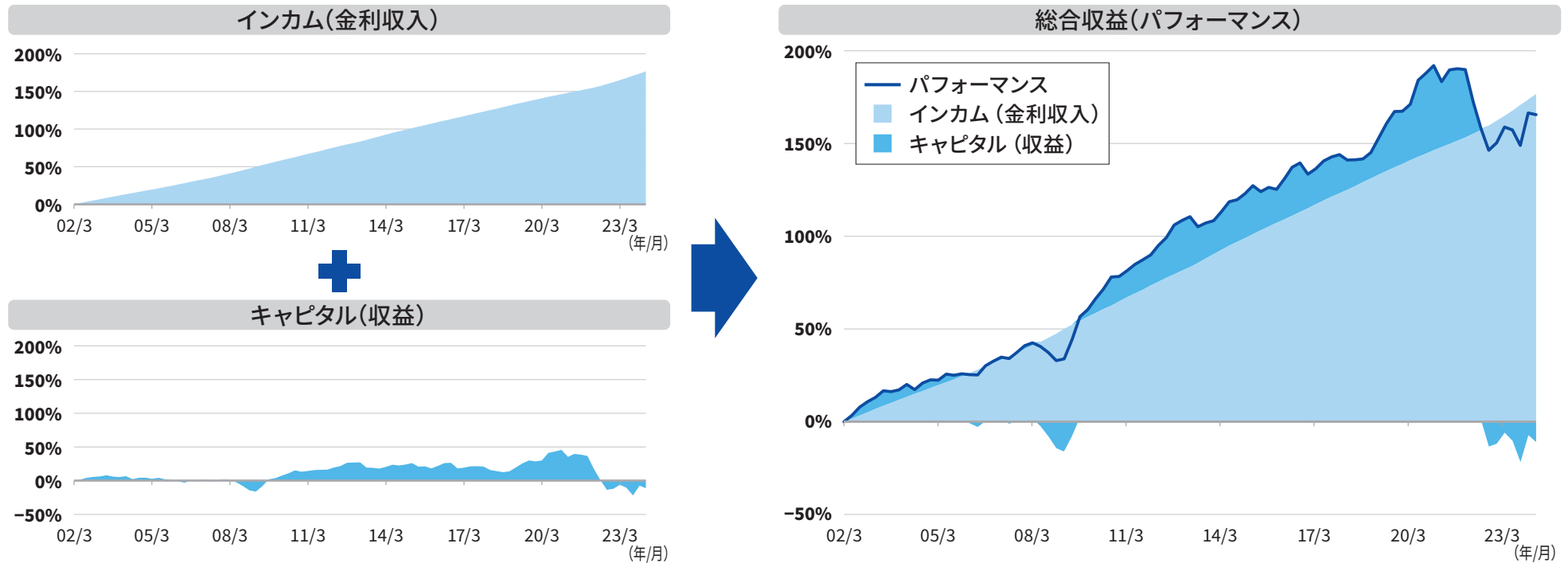


2. 「上質なインカム」の発掘と投資環境に応じたポートフォリオの見直し

「上質なインカム」がファンドの安定的な収益源に

- 投資環境に応じて債券価格によるキャピタル(収益)は変動しますが、インカム(金利収入)は時間とともに蓄積され中長期的なファンドの収益源となります。
- 「上質なインカム」を発掘し、時間をかけて積み上げてきたことが、当戦略の運用実績に大きく寄与しています。

当戦略のパフォーマンスの内訳 (2002年3月末～2024年3月末、四半期毎)



出所: マニュライフ・インベストメント・マネジメント(US) LLCのデータをもとにマニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニュライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。ポートフォリオの状況は、代表口座の状況であり当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

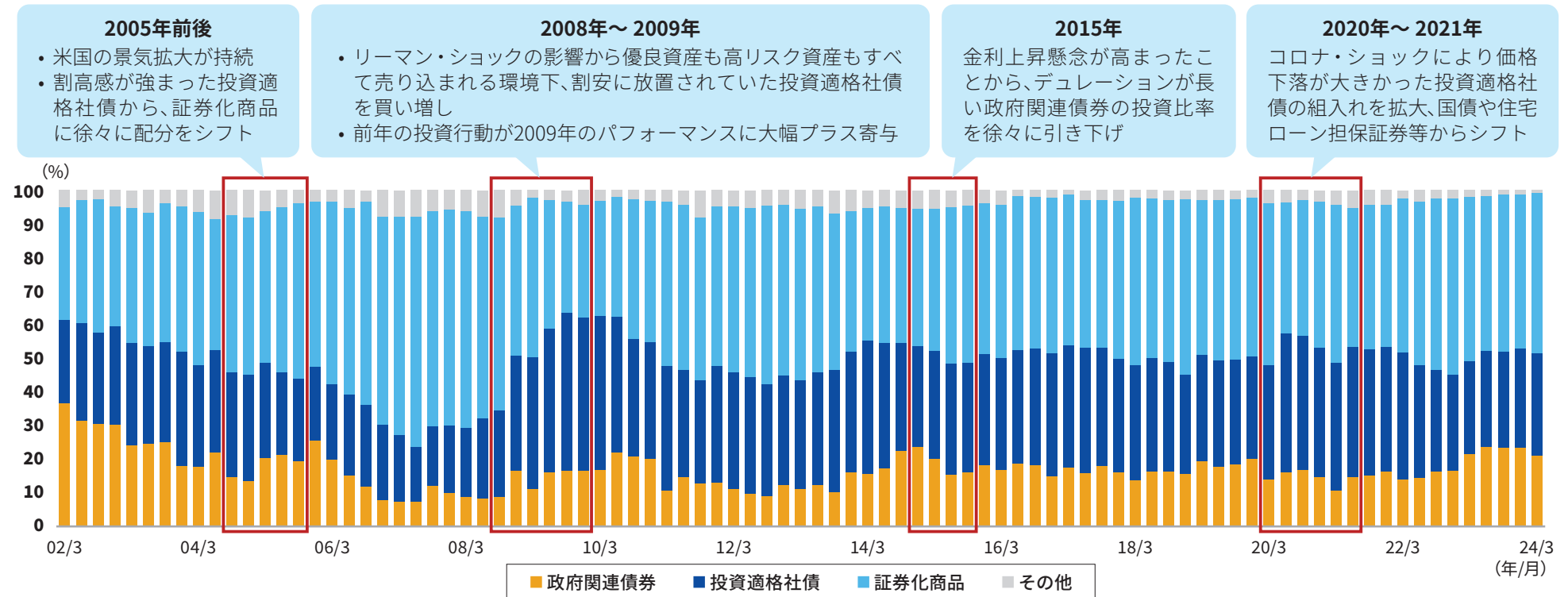


2.「上質なインカム」の発掘と投資環境に応じたポートフォリオの見直し

投資環境に応じたポートフォリオの見直し

- 当戦略は、市場予測や経済見通しに応じて銘柄選定やセクター配分を柔軟に見直してきました。
- さまざまな投資環境に応じポートフォリオを構築してきたことが安定的なパフォーマンスに貢献しています。

当戦略の資産配分の推移 (2002年3月末～2024年3月末、四半期毎)



出所: マニュアル・インベストメント・マネジメント(US) LLCのデータをもとにマニュアル・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニュアル・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。ポートフォリオの状況は、代表口座の状況であり当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

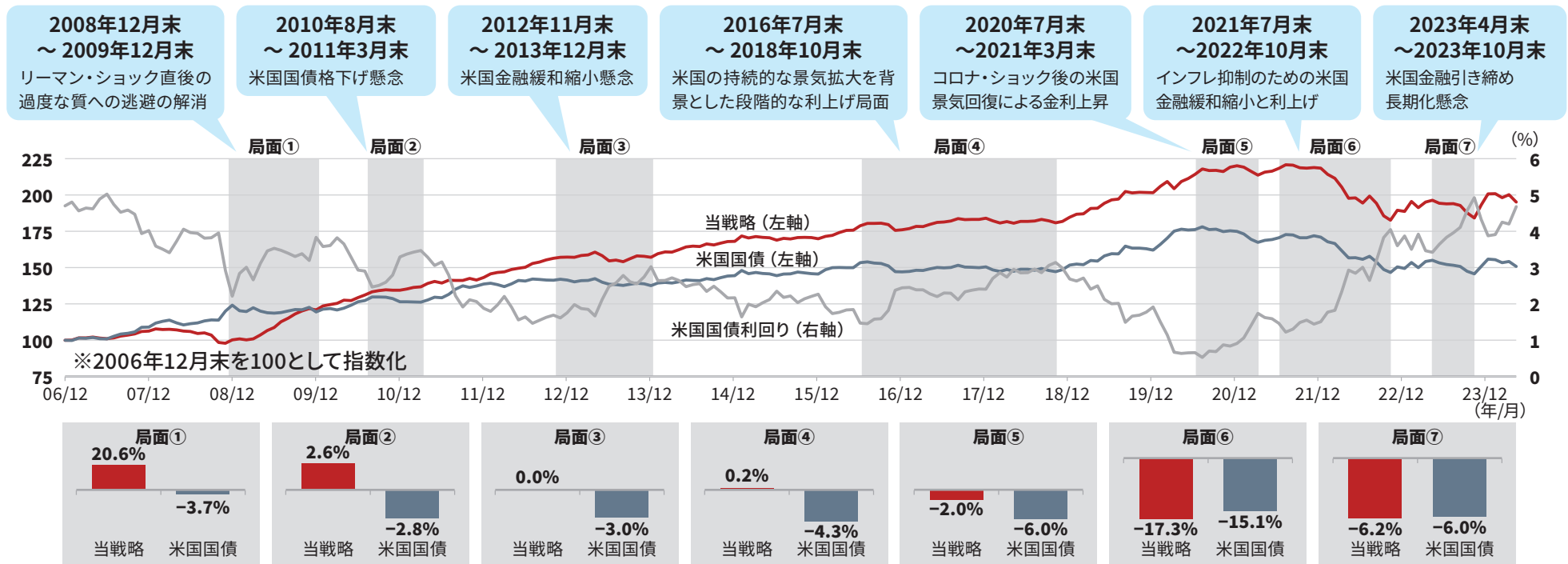


2.「上質なインカム」の発掘と投資環境に応じたポートフォリオの見直し

金利上昇局面でも底堅く推移

- 一般的に金利上昇は債券価格の下落要因となるため、金利上昇局面は債券運用にとって逆風となります。
- 過去の金利上昇局面では、的確な投資判断と「上質なインカム」の積み上げにより、当戦略のパフォーマンスは米国国債と比較して概ね堅調に推移しました。

パフォーマンスの推移と金利上昇局面における騰落率(米ドルベース) (2006年12月末～2024年4月末、月次)



※使用した指数については巻末をご参照下さい。

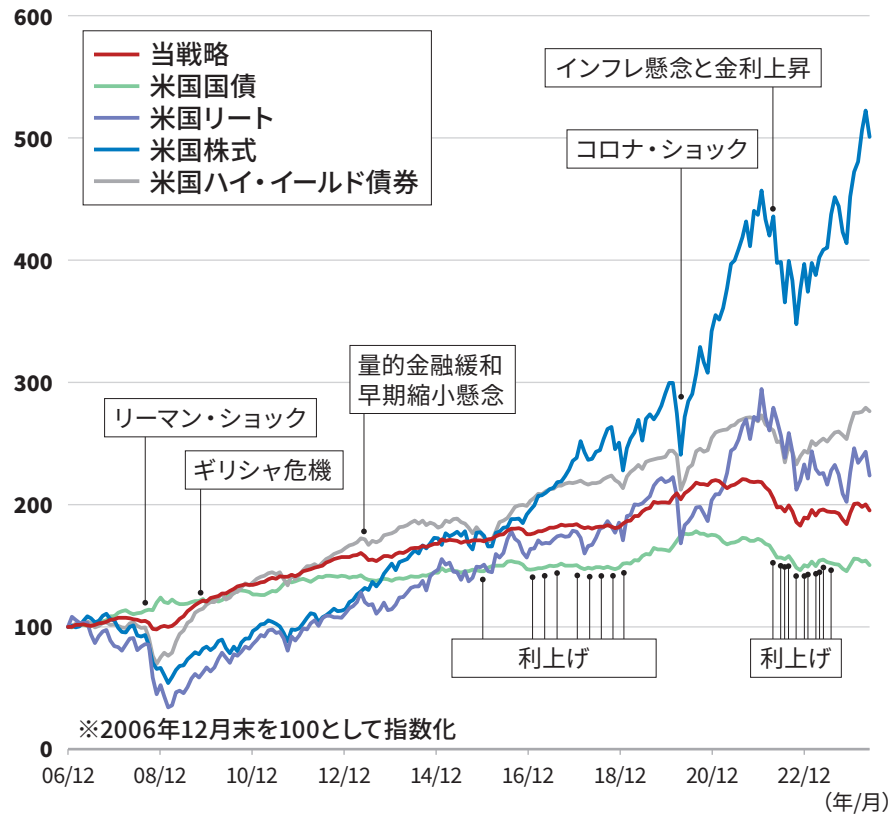
出所:マニユライフ・インベストメント・マネジメント(US)LLC、ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

2.「上質なインカム」の発掘と投資環境に応じたポートフォリオの見直し 相対的にリスクを抑えた安定的な運用実績

■当戦略は、さまざまな危機や利上げ時には下落幅を抑えつつ、相対的に安定したパフォーマンスを実現してきました。

パフォーマンスの推移(米ドルベース) (2006年12月末～2024年4月末、月次)

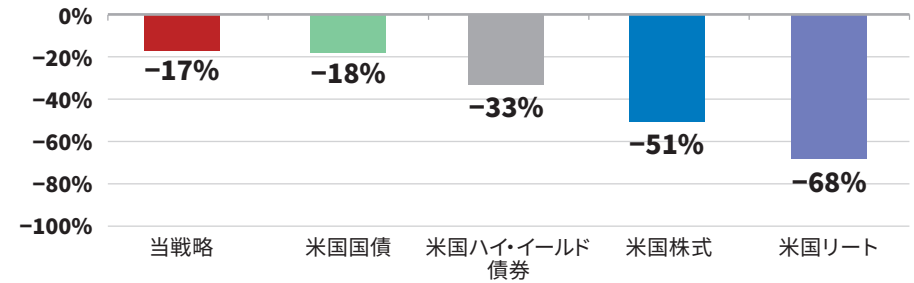


※使用した指数については巻末をご参照下さい。

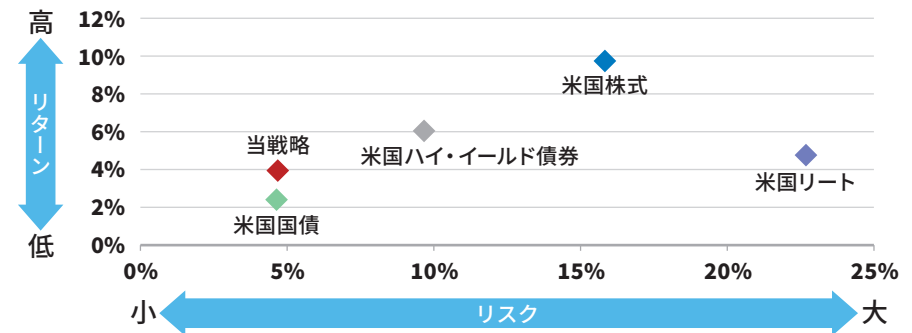
出所: マニユライフ・インベストメント・マネジメント(US) LLC、ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

最大下落率(米ドルベース) (2006年12月末～2024年4月末)



リスク・リターン(米ドルベース) (2006年12月末～2024年4月末、月次)



※最大下落率(米ドルベース)は各月末値とそれ以前の月末値の最高値との下落率を計算し、その最大のものを表示しています。

※リターンは年率換算、リスクは月次リターンの標準偏差を年率換算したものです。



2.「上質なインカム」の発掘と投資環境に応じたポートフォリオの見直し

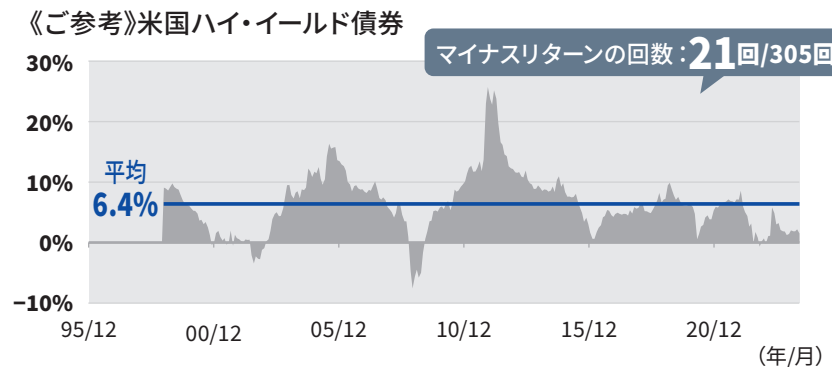
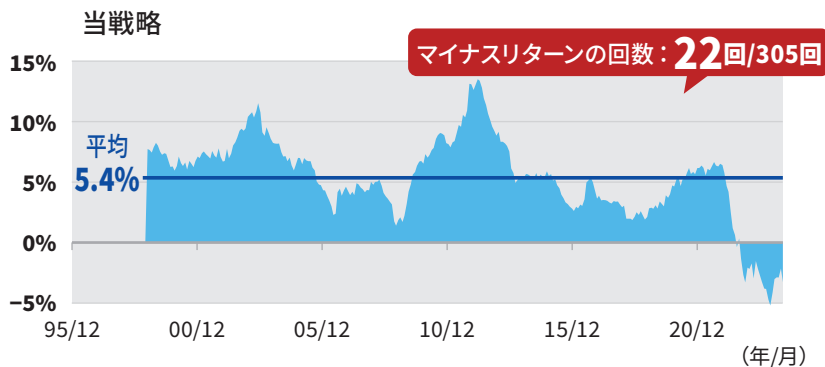
中長期的に安定したリターン



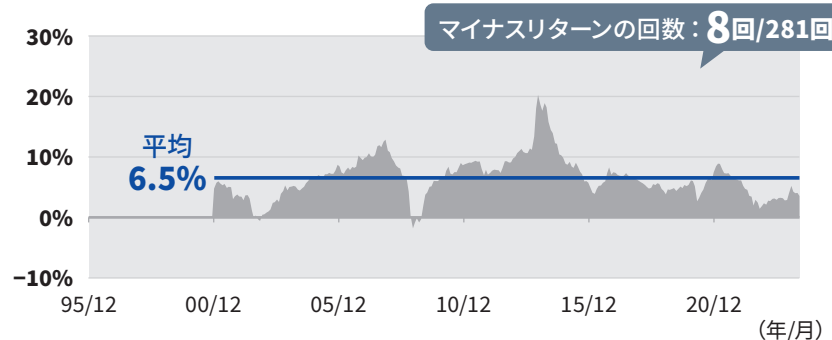
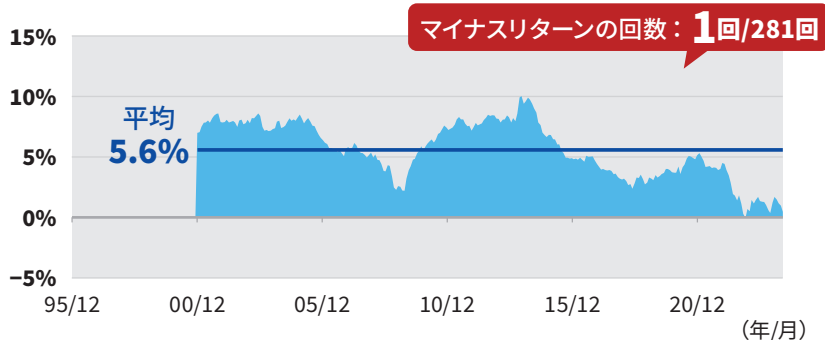
■当戦略は、保有期間が長いほどリターンは安定する傾向がみられます。

当戦略の保有期間別リターン (1995年12月末～2024年4月末、月次、米ドルベース)

3年間保有した場合のリターン
(年率)
1998年12月末～
2024年4月末(月次)



5年間保有した場合のリターン
(年率)
2000年12月末～
2024年4月末(月次)



※保有期間別リターンは、1995年12月末から2024年4月末の月次データをもとに、基準月まで一定期間保有した場合の年率リターンです。3年間または5年間にわたり資産を保有したと仮定し、各基準月時点での程度のリターンが得られたかをシミュレーションしています。取引コストや税金等は考慮していません。

※上記は運用実績ではなくシミュレーションです。シミュレーション結果は将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

※使用した指数については巻末をご参照下さい。

出所: マニユライフ・インベストメント・マネジメント(US) LLC、ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。



マニュアルの運用力



3. マニユライフの運用力

長期にわたり優れた運用実績をもつ運用チーム



■当ファンドの運用は、長期にわたり優れた運用実績を持つ経験豊富な米国債券運用チームが担当します。



Howard C. Greene CFA

ハワード・グリーン

共同運用責任者兼リード・ポートフォリオ・マネージャー

1983年から金融業界のキャリアをスタートさせ、投資適格社債およびハイ・イールド債券の運用に従事。ボストン証券アナリスト協会のメンバーに名を連ね、ボストン債券運用協会の前会長兼理事を務める。債券市場に関するメディアへのコメントや出演等も多数。

2002年にマニユライフ・インベストメント・マネジメント入社



Jeffrey M. Given CFA

ジェフリー・ギヴン

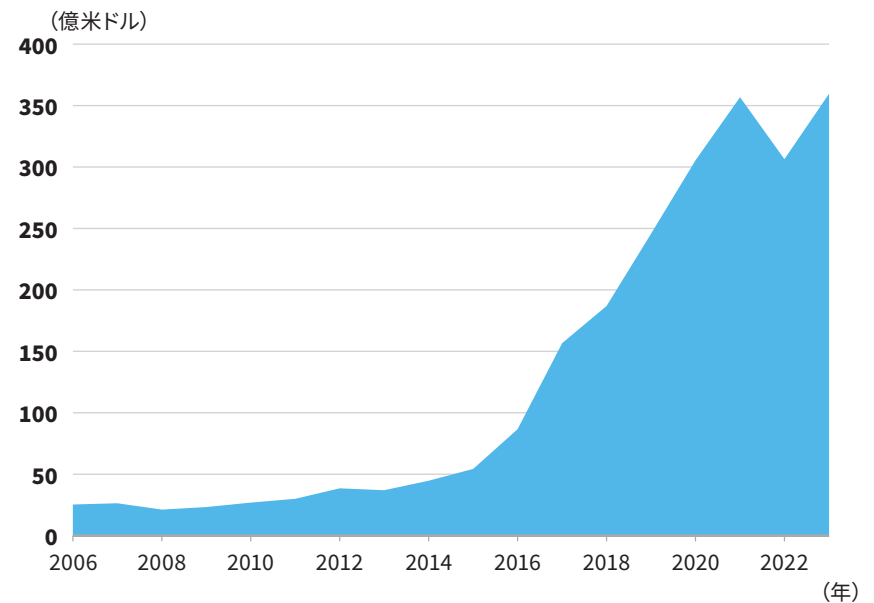
共同運用責任者兼シニア・ポートフォリオ・マネージャー

1993年にキャリアをスタートさせ、モーゲージ証券のトレーディング業務やリサーチ業務等を経て、当戦略、証券化商品戦略、政府債券戦略等の運用に従事。

1993年にマニユライフ・インベストメント・マネジメント入社

米国債券運用チームの同種戦略*の運用資産額の推移

(2006年～2023年、年次)



*当戦略および「US・コア・プラス・フィクスト・インカム戦略」のコンポジットを使用しています。

出所: マニユライフ・インベストメント・マネジメント (US) LLC のデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

上記は、当ファンドの投資戦略である「マニユライフ・米国投資適格債券戦略」のコンポジットの過去の運用実績(米ドルベース、運用報酬控除前、税引き前)であり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆、保証するものではありません。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

※当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。



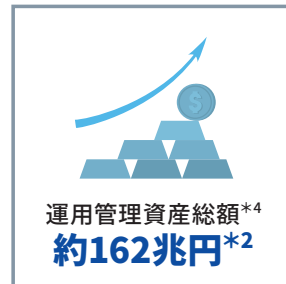
3. マニユライフの運用力

マニユライフ・グループのご紹介

■ マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション

- マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)は、1887年にカナダの初代首相ジョン・A・マクドナルド卿を社長として設立された長い歴史と伝統を誇るグローバル企業です。
- 保険会社を中核とした金融グループならではの、財務の健全性、および長期的かつ安心感のあるソリューション提供力を兼ね備え、長きにわたりお客さまと信頼関係を構築しています。

名 称	マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション
本社所在地	カナダ オンタリオ州 トロント
設 立	1887年
従業員数	3万8,000人超(グループ全体)*1



*1 2023年12月末現在

*2 2024年3月末現在、同時点の為替レートで円換算

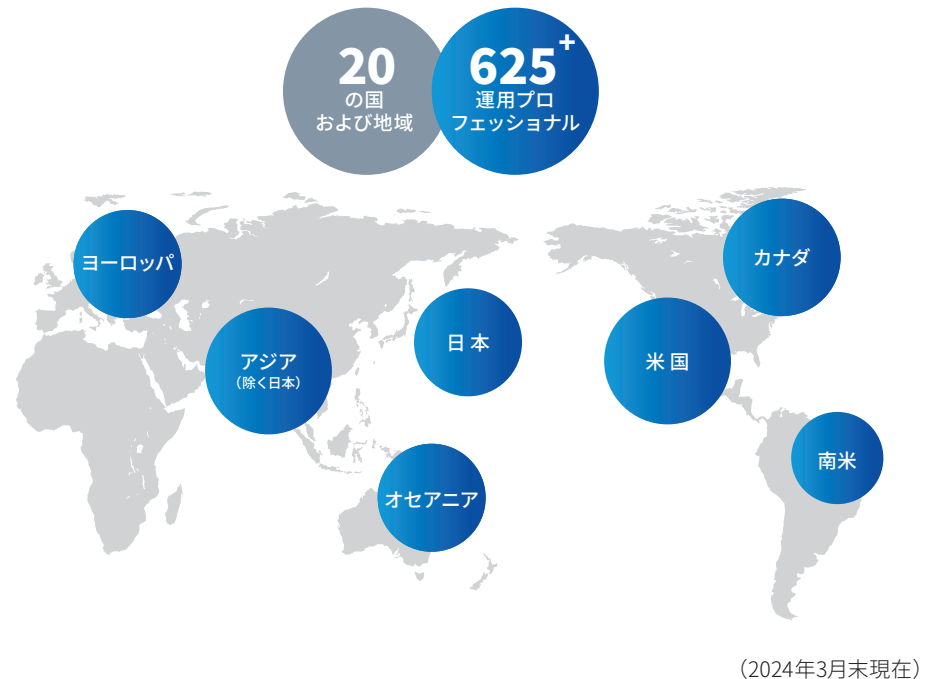
*3 マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(カナダ・トロント証券取引所)の株式時価総額

*4 運用管理資産総額は、保険会社、運用会社等、マニユライフ・グループ全体の管理、運用する資産総額
出所: マニユライフ・ファイナンシャル・グループ、マニユライフ・インベストメント・マネジメント

■ マニユライフ・インベストメント・マネジメント

- マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションの資産運用ビジネス部門です。
- 世界20カ国・地域に625名超の運用プロフェッショナルを配属し、グローバルな運用戦略・ソリューションをご提供しています。年金基金、機関投資家、個人投資家のみなさまの幅広いニーズにお応えするために、地域に根差した運用体制の強化に取り組んでいます。
- 運用資産残高は約71兆円*2にのぼります。

● グローバルな運用拠点





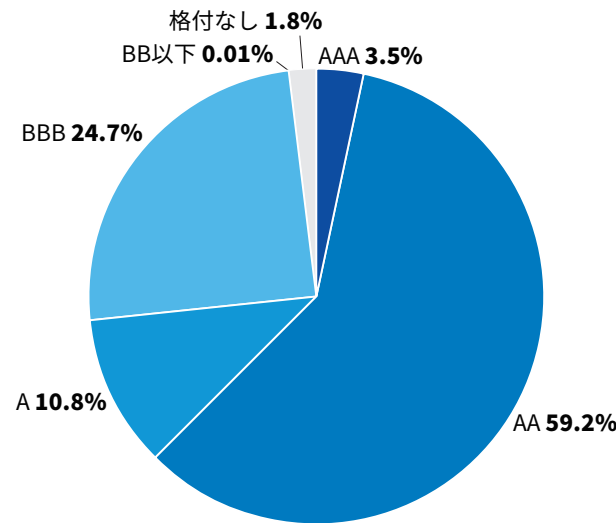
ポートフォリオの状況 (2024年4月末時点)

※当ファンドが主要投資対象とする「マンライフ・インベストメンツ・トラスト-US・コア・フィクスト・インカム・ファンド クラスA」のデータです。

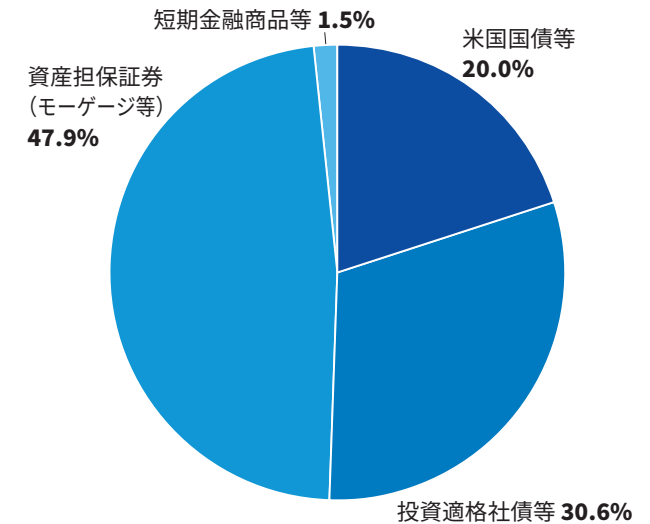
ポートフォリオ特性

平均格付け	AA-
直接利回り	4.39%
最終利回り	5.69%
平均デュレーション	6.3年
組入銘柄数	508

格付別構成比



債券種別構成比



※ポートフォリオ特性と格付別構成比は純資産総額から現預金等を除いて計算しています。

※平均格付けおよび格付別構成比は、原則、S&P社、ムーディーズ社、フィッチ社の格付けをもとに、マンライフ・インベストメント・マネジメント(US) LLCが独自の基準に基づき算出したものです。

また、平均格付けは、当ファンドに係る信用格付けではありません。

※債券種別構成比は純資産総額に対する比率です。

※数値を四捨五入しているため合計値が100%にならないことがあります。

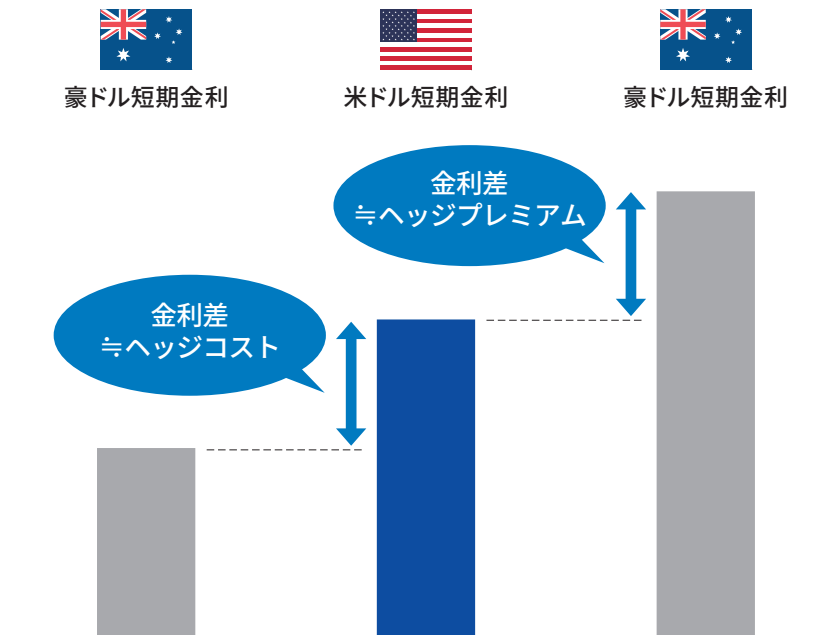


豪ドル建てヘッジあり

為替ヘッジについて

- 為替ヘッジとは、為替変動による損失を低減するため、為替予約取引等を利用して、将来の為替変動の影響を抑える手法です。
- 一般的に豪ドルより米ドルの短期金利が高い場合は、豪ドルと米ドルの金利差相当分がコスト(ヘッジコスト)、逆の場合は、収益(ヘッジプレミアム)となります。

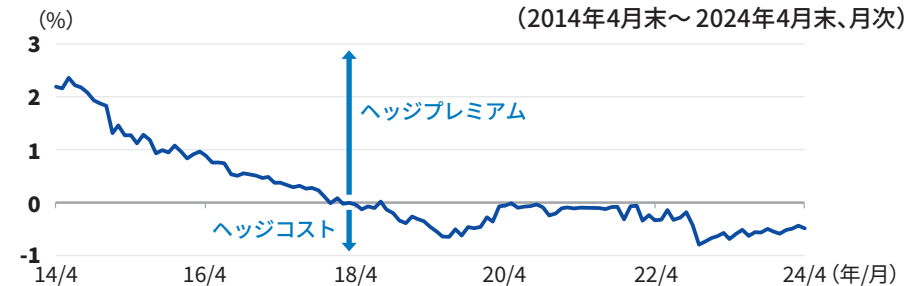
為替ヘッジコスト/プレミアムのイメージ



※為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

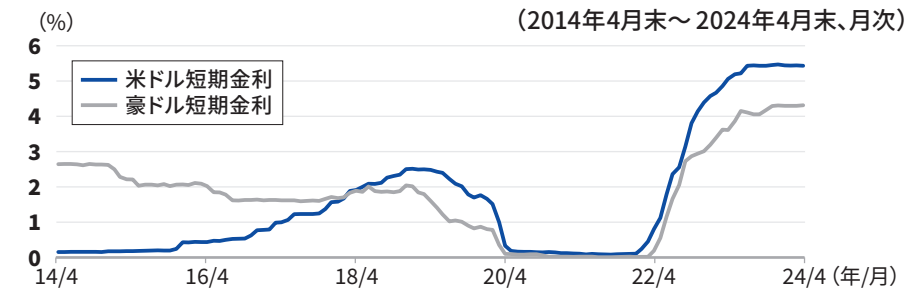
出所:ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成

《ご参考》米ドルの為替ヘッジコスト/プレミアム(対豪ドル)の推移



※為替ヘッジコスト/プレミアムは、豪ドルと米ドルの1ヵ月先渡為替レートおよびスポットレートを使用し、年率換算して算出しています。

《ご参考》米ドル短期金利および豪ドル短期金利の推移



※米ドル短期金利は米ドル1ヵ月LIBOR、豪ドル短期金利は銀行手形1ヵ月の利回りを使用しています。



ファンドの特色 (詳細は投資信託説明書(交付目論見書)にてご確認下さい。)

1

ファンドは米ドル建ての外国籍投資信託であり、
クラスA(米ドル建て) 受益証券は米ドル建て、クラスA(豪ドル建てヘッジあり)
受益証券は豪ドル建てです。

- クラスA(豪ドル建てヘッジあり) 受益証券については米ドル売り、豪ドル買いの為替ヘッジ取引を行い、米ドル/豪ドルの為替変動の影響を低減します。

2

投資方針は以下のとおりです。

- 主に米ドル建ての債券(米国国債、社債、モーゲージ証券、資産担保証券等)に投資を行います。
- ファンドは総資産の80%以上を債券(取得時において投資適格である債券)に投資します。

3

高水準のインカム・ゲインを達成し、
市場周期全体にわたってトータル・リターンを最大化することをめざします。

- 割安と判断される銘柄を発掘するため、ボトムアップ調査を行います。

4

運用はマニユライフ・インベストメント・マネジメント(US)LLCが行います。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認下さい。



投資リスク



1口当たり純資産価格の変動要因

- **ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、1口当たり純資産価格は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者に帰属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**
- **ファンドの主なリスク要因は、次のとおりです。詳細は、請求目論見書の該当箇所をご参照下さい。**

主な変動要因

金利変動リスク	債券の価値は、金利の変動に基づき変動する可能性があります。通常、金利の上昇局面では、債券の価値は下落する傾向にあります。逆に、金利の低下局面では、債券の価値は上昇する傾向にあります。債券の価値の変動の程度は、債券の満期および発行条件を含む多くの要因に依拠します。
債務不履行リスク	債務を負う発行体は、支払期日到来時に速やかに元金の支払いを行わないことがあります。その結果、ファンドの価値が下落する可能性があります。
期限前償還リスク	変動金利ローンを含む多くの種類の債券は、期限前償還リスクにさらされます。期限前償還リスクは、証券の発行体が証券の満期前に元本を返済できる場合に生じます。期限前償還リスクにさらされる証券は、発行体の信用度が改善した場合、利益の可能性を小さくし、また損失を生じる可能性があります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下で取引を行えない、または取引が不可能となる場合は、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、ファンドの1口当たり純資産価格が下落する要因となります。
為替変動リスク	ファンドは米ドル建てであるため、米ドル貨から投資する場合には、ファンドに対する為替変動のリスクはありません。しかし、円貨から投資し、円貨にて米ドル建て資産を評価する場合には、為替変動の影響を直接受けます。したがって、円高局面では、円貨で評価した資産価値が大きく減少する可能性があり、この場合、円貨で評価したファンドの純資産総額が下落するおそれがあります。また、ファンドが米ドル以外の通貨建て資産への投資を行う場合、当該通貨で評価した資産価値が米ドルに対して下落するおそれがあります。 日本における投資家によるクラスA(豪ドル建てヘッジあり)受益証券への投資は、豪ドル建てである受益証券の純資産額の評価における為替変動リスクを被る可能性があります。したがって、円高局面では、円貨で評価した受益証券の純資産価額が大きく減少する可能性があります。クラスA(豪ドル建てヘッジあり)受益証券については、これに帰属する組入資産について米ドル売り豪ドル買いの為替ヘッジ取引を行い、米ドルと豪ドルとの間の為替変動リスクの低減を図りますが、かかるリスクを完全に排除できるものではありません。

その他の留意点

- **ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。**

リスクの管理体制

投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。



ファンドの費用（大和証券でお申込みの場合）

当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。 ※詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご確認下さい。

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入口数に応じて右表の通りとします。
換金(買戻し)手数料	ありません。

購入時の申込口数	購入時手数料(税込)
500口未満	購入金額の 1.10%
500口以上1,000口未満	購入金額の 0.55%
1,000口以上	なし

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

受益証券に関するファンドの純資産総額に対して**年率0.85～1.13%**、および受託会社報酬(管理事務代行会社報酬、保管会社報酬および受託代行会社報酬を含む)、その他の費用が受益証券に関するファンドの資産より控除されます。

米国10年国債の利回り	1%未満	1%以上 2%未満	2%以上 3%未満	3%以上 4%未満	4%以上	支払先	対価とする役務の内容	
報酬率(合計)	0.85%	0.92%	0.99%	1.06%	1.13%			
内訳	管理会社報酬	0.08%				管理会社	ファンドに対する管理業務	
	投資運用会社報酬	0.17%				投資運用会社	ファンドの信託財産の運用業務	
	管理会社代行サービス会社報酬*	0.25%	0.27%	0.29%	0.31%	0.33%	管理会社代行サービス会社	日本における公募に関する、受益証券販売・買戻し契約および代行協会員契約に基づく管理会社の義務の履行の連絡ならびに補助およびそれに付随する業務
	代行協会員報酬	0.10%				代行協会員	代行協会員としての活動、受益証券1口当たり純資産価格の公表およびこれらに付随する業務	
	販売会社報酬*	0.25%	0.30%	0.35%	0.40%	0.45%	日本における販売会社	受益証券の販売業務、購入・買戻しの取扱業務、運用報告書の交付等購入後の情報提供業務およびこれらに付随する業務
受託会社報酬(管理事務代行会社報酬、保管会社報酬および受託代行会社報酬を含む)	受託会社に支払われる受託報酬(年間12,000米ドル)、ならびに受託事務代行報酬(年率上限0.05%。ただし、最低金額が設定されています。)、保管報酬、純資産価格算出費用等からなる保管会社および受託代行会社に支払われる報酬が含まれますが、運用状況等により変動するため、事前に料率を示すことができません。							
その他の費用	設立費用、取引手数料、会計等専門家費用、監査報酬、法務関連費用、信託財産にかかる租税等がファンドより支払われます。そのためこれらの費用は投資者の皆様が間接的にご負担いただくこととなりますが、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。							

※ファンドの費用の合計額については、運用状況および保有期間等により異なるため、事前に合計額または上限額あるいは計算方法を記載することができません。

※管理会社代行サービス会社報酬および販売会社報酬についての変更は、毎年3月および9月の最終ファンド営業日における米国財務省の発表する米国10年国債の利回りにて判定し、4月21日および10月21日(もし当該日がファンド営業日でない場合には次のファンド営業日または管理会社が決定する他の日)に有効となります。

「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。



お申込みメモ (大和証券でお申込みの場合)

ファンドの名称は、「マニユライフ・インベストメンツ・トラスト - US・コア・フィクスト・インカム・ファンド」であり、募集対象は「クラスA(米ドル建て) 受益証券」および「クラスA(豪ドル建てヘッジあり) 受益証券」です。

クラスの設定日	クラスA(米ドル建て)：2020年9月25日(金) クラスA(豪ドル建てヘッジあり)：2021年4月9日(金)
信託金限度額	制限なし
収益分配	年2回(3月15日および9月15日。ファンド営業日でない場合は翌ファンド営業日)
決算日	毎年12月31日
ファンド営業日	ニューヨークおよび日本(および管理会社がトラストまたはファンドに関し決定する他の場所)の銀行営業日でありかつニューヨーク証券取引所の営業日である日(土曜日、日曜日または祝日以外)、およびトラストまたはファンドに関し管理会社が随時書面で指定する他の日(管理会社の単独裁量によります。)をいいます。
国内約定日	購入または換金(買戻し)の注文の成立を日本における販売会社が確認した日(通常、申込日の翌ファンド営業日をいいます。)の翌国内営業日
購入単位	1口以上1口単位
購入価額	申込日に適用される1口当たり純資産価格
購入代金	国内約定日から起算して4国内営業日目までに申込金額(申込口数×購入価額)および購入時手数料を支払うものとします。
換金(買戻し)単位	1口以上1口単位
換金(買戻し)価額	申込日に適用される1口当たり純資産価格
換金(買戻し)代金	国内約定日から起算して4国内営業日目までに日本における販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として購入/換金(買戻し)受付日の午後5時(日本時間)。
信託期間	原則として2152年6月14日に信託期間を満了します。 ただし後記「償還条項」記載の事項により早期償還されることがあります。
償還条項	<p>ファンドは、以下の事項のいずれかが最初に発生した場合、償還されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ファンドを継続することが違法となり、または受託会社もしくは管理会社の意見によれば、実務的でなく、非経済的、不適切、もしくは受益者の利益に反する場合 ② 以下のいずれかの状況が生じた場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ ファンドがその投資目的を達成することができなくなったと投資運用会社が判断し、かつ(i)投資運用会社および管理会社が、それぞれ署名した受託会社への書面による通知をもって、ファンドを償還すべきであると決定し、かつ(ii)当該償還を承認するファンド決議で可決した場合。 ・ 受託会社および管理会社がファンドを償還すべきであるとの合意をした場合。 ・ ファンドの運用資産が100,000米ドルを下回った場合。 ③ ファンドの発行済の受益証券がすべて買い戻された場合(任意買戻しによるかまたは強制買戻しによるかを問わない。) ④ ファンドの受益者がファンドの決議で決定した場合 ⑤ 基本信託証書の日付に開始し、その日付より149年後に満了する期間の最終日 ⑥ 受託会社が退任の意思を書面で通知する、受託会社が清算手続きに入る、または管理会社が基本信託証書に従い受託会社を解任する場合で、受託会社および管理会社が2か月以内に適切な後任会社を特定できず、その後受益者が、望ましい後任の受託者として、受託会社の業務を引き受ける意思があるケイマン諸島で設立された法人を基本信託証書に従い選定することができない場合 ⑦ 管理会社が辞任を書面で通知する、または受託会社が基本信託証書に従い管理会社を解任する場合で、管理会社が辞任の意思を通知してから60日以内に後任の管理者が基本信託証書に従って任命されない場合 ⑧ 受益者決議による事前承認があり、受託会社が管理会社を解任する場合で、受益者決議が、受託会社が許容できる望ましい後任の管理者を明示していない場合

「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。



お申込みメモ（大和証券でお申込みの場合）

換金（買戻し）制限	<ul style="list-style-type: none">・管理会社は、受益者の利益の保護を目的として、受託会社と協議の上、買戻日に買い戻される受益証券の口数（またはいずれか一もしくは複数の受益証券クラスの受益証券の口数）を、管理会社が定める口数までかつ管理会社が定める方法で制限することができます。・いずれの取扱日においても、受益証券（またはいずれか一もしくは複数の受益証券クラスの受益証券）の10%を超えるような買戻しを行うことはできませんが、この制限は、管理会社が受託会社との協議の上随時変更することができます。
購入・換金（買戻し）申込受付の中止および取消し	<p>管理会社は、以下を含む基本信託証書に記載される状況において、ファンドの純資産総額およびファンド（またはそのクラスもしくはシリーズ）の1口当たり純資産価格の決定、ならびに／またはファンドの受益証券の発行および／もしくは買戻しを停止することができます。</p> <ol style="list-style-type: none">① 当該時点において当該ファンドの投資対象の大部分が値付けされている主たる市場もしくは取引所が（通常の休日の場合を除き）閉鎖されている、または取引が実質的に制限もしくは停止されている期間中。② 緊急事態により、受託会社によるまたは受託会社のための当該ファンドの投資対象の処分の実施が妨げられている期間中。③ 当該ファンドの投資対象の価格、または市場もしくは取引所における時価を決定する際に通常使用されている通信手段が故障している期間中。④ 当該ファンドの投資対象の換金もしくは支払いに伴うまたはその可能性のある金銭の送金を行うことができない期間中。⑤ 管理会社が（管理会社の絶対的な裁量により判断するところにより）相当の割合の当該ファンドの資産の清算、または当該ファンドの終了を強いられる事由が発生した場合。⑥ 管轄権を有する司法当局または監督当局の命令が下された場合。⑦ かかる停止を実施することが受益者の最善の利益に適うと管理会社がみなす期間中。⑧ 当該ファンドの運営に関する管理会社、受託会社、受託代行会社の事業活動が、疫病、戦争行為、テロリズム、反乱、革命、社会不安、暴動、ストライキもしくは不可抗力の結果またはそれに起因して、実質的に中断または停止している期間。
運用報告書	<p>管理会社は、ファンドの各計算期間終了後遅滞なく、投資信託および投資法人に関する法律に従って、一定の事項につき交付運用報告書および運用報告書（全体版）を作成し、金融庁長官に提出しなければなりません。</p> <p>交付運用報告書は、日本の知れている受益者に交付されます。</p>
課税関係	<p>ファンドは、税法上、公募外国公社債投資信託として取り扱われます。</p> <p>ただし、将来における税務当局の判断によりこれと異なる取扱いがなされる可能性もあります。</p>
その他	<p>受益証券の申込を行う投資者は、日本における販売会社と外国証券の取引に関する契約を締結します。このため、日本における販売会社は、「外国証券取引口座約款」その他所定の約款を投資者に交付し、投資者は、当該約款に基づく取引口座の設定を申し込む旨を記載した申込書を提出します。</p>



ファンドの関係法人

ファンド運営上の役割	会社名等
管 理 会 社	マニユライフ・インベストメント・マネジメント (HK) リミテッド ファンドの資産の運用・管理、受益証券の発行・買戻しを行います。
受 託 会 社	HSBC トラスティ (ケイマン) リミテッド ファンドの受託業務を行います。
管 理 事 務 代 行 会 社	HSBC トラスティ (ケイマン) リミテッド ファンドの管理事務代行業務を行います。
保 管 会 社	香港上海銀行 ファンドの資産の保管業務を行います。
投 資 運 用 会 社	マニユライフ・インベストメント・マネジメント (US) LLC ファンドの投資運用業務を行います。
受 託 代 行 会 社	HSBC インスティテューショナル・トラスト・サービシーズ (アジア) リミテッド ファンドの一定の管理事務代行業務を行います。
管理会社代行サービス会社	マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社 ファンドの日本における管理会社代行サービス業務を行います。
日本における販売会社	大和証券株式会社 ファンドの受益証券の日本における販売業務・買戻しの取扱業務を行います。
代 行 協 会 員	大和証券株式会社 ファンドの代行協会員業務を行います。

【当資料で使用した指数について】

米国投資適格債券：ブルームバーグ米国総合インデックス

米 国 国 債：FTSE米国国債インデックス

米国政府関連債券：ブルームバーグ米国総合：政府関連債インデックス

米国投資適格社債：ブルームバーグ米国社債インデックス

米国住宅ローン担保証券：ブルームバーグ米国MBSインデックス

米国ハイ・イールド債券：ICE BofA USハイ・イールド・インデックス

米 国 株 式：S&P500種指数(配当込み)

米 国 リ ー ト：FTSE NAREITオール・エクイティ・リート・インデックス(配当込み)

日本投資適格社債：ブルームバーグ日本社債インデックス

米国国債利回り：ブルームバーグ算出の米国ジェネリック10年国債利回り

日本国債利回り：ブルームバーグ算出の日本ジェネリック10年国債利回り

ドイツ国債利回り：ブルームバーグ算出のドイツ・ジェネリック10年国債利回り

豪州国債利回り：ブルームバーグ算出の豪州ジェネリック10年国債利回り

【ご留意いただきたい事項】

- 当資料は、マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が、マニユライフ・インベストメント・マネジメント(HK) リミテッドに代わって作成した販売用資料です。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。
- 投資信託は、預金等や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、預貯金と異なり元本や利回りの保証はありません。銀行などの登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報に基づいておりますが、当社がその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合があります。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料に記載された個別の銘柄・企業名は参考情報であり、当社がこれらの銘柄について取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。また、将来の組入れを示唆または保証するものではありません。
- 当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- 当資料に記載された見解・見通し・運用方針は作成時点における当社の見解等であり、将来の経済・市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。